

令和5年度 秋田市在宅医療・介護連携セミナー アンケート結果

開催日時：令和5年11月18日（土） 14:00～16:00

会場：秋田県JAビル

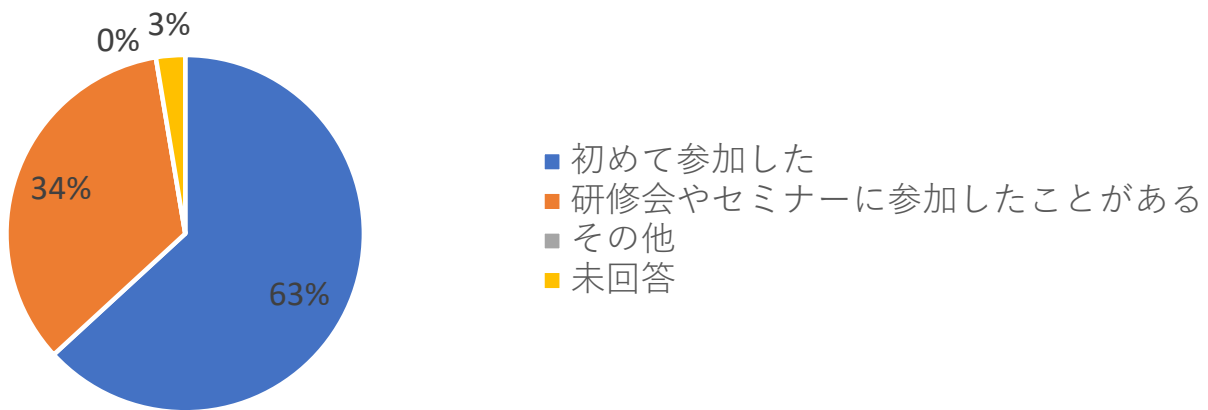
参加者数：44人

（医師5名、薬剤師5名、看護師8名、MSW2名、介護支援専門員5名、施設相談員2名、施設長、管理者3名、包括職員3名、介護職員6名、相談支援専門員1名、その他4名）

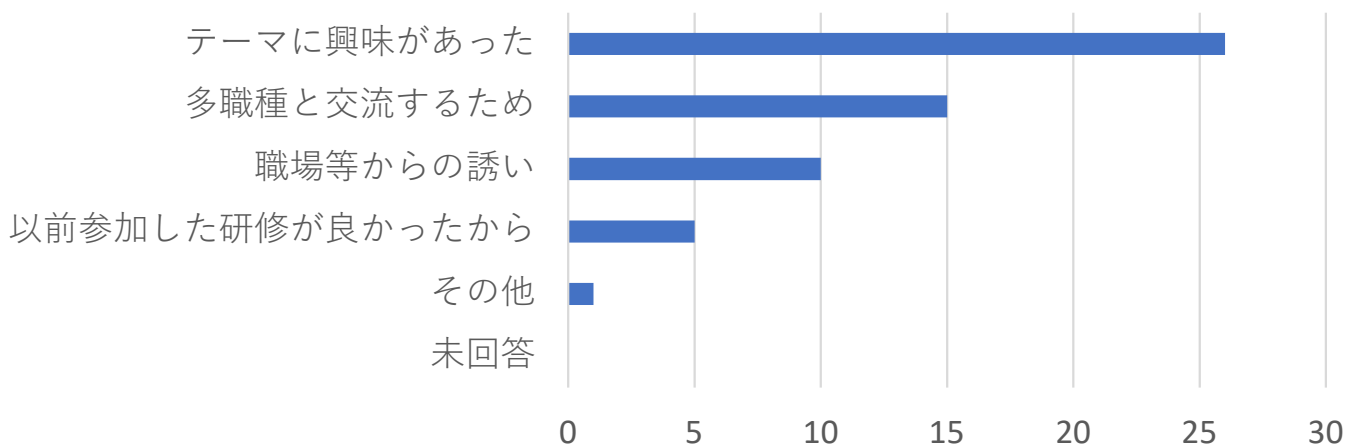
回収率：86.4%

I 本日の研修会について

問1 本センターが開催するセミナー等への参加について



問2 本日の研修会に参加した理由

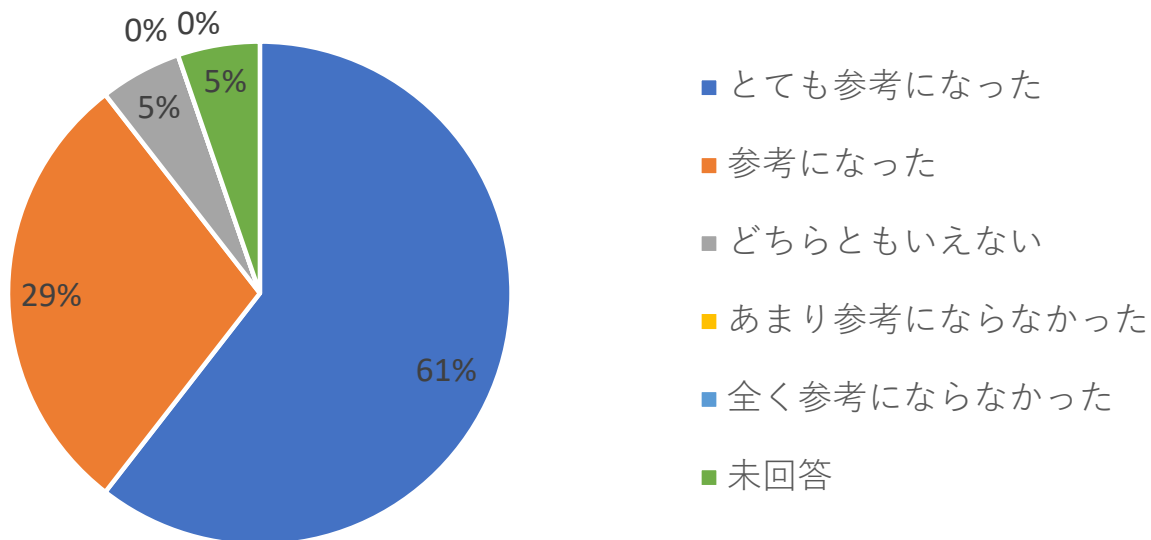


※その他

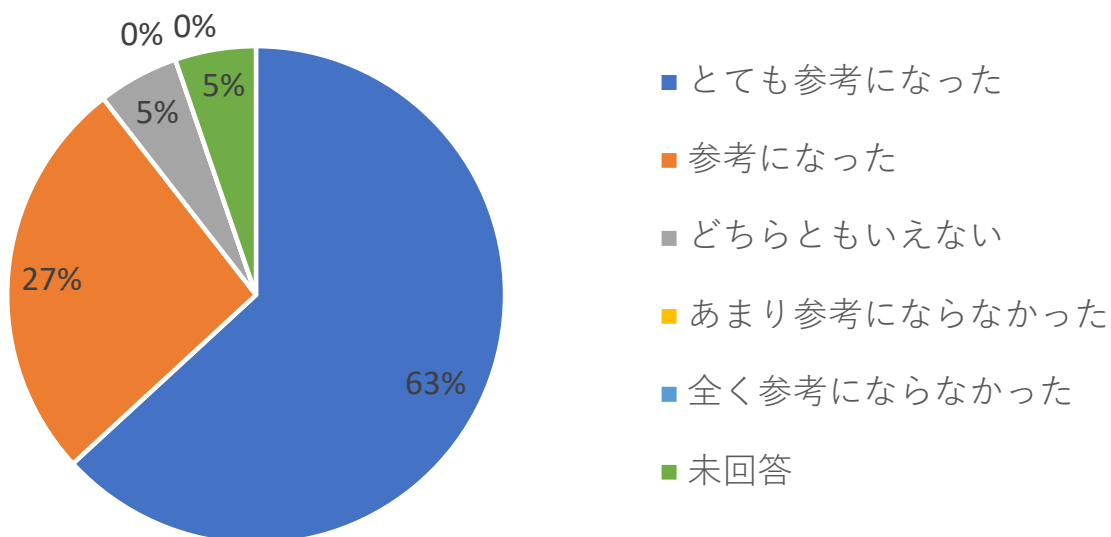
・約4年前にAターンで秋田に戻り、秋田の地域包括システムの実施の遅れを感じたため

3. 感想

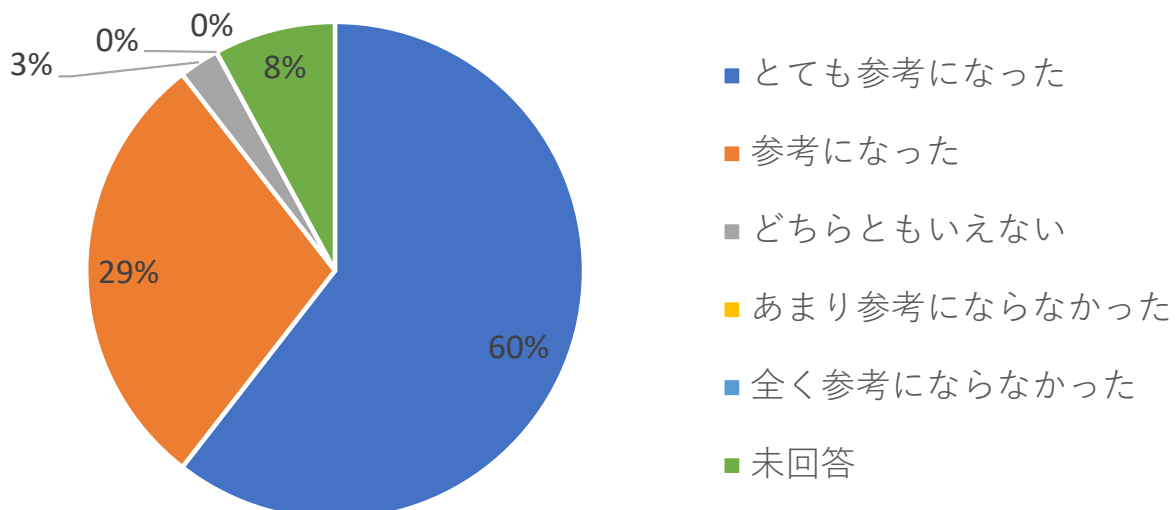
ア 講演1「高齢者福祉施設等における救急対応」



イ 講演2「緊急時のための施設内での取組」



ウ 講演3「病院・緊急外来からお願いしたいこと」



ア 講演1「高齢者福祉施設における救急対応」感想の理由

- ・現状を知ることができたため
- ・救急搬送前に主治医等の指示をあおいで、搬送しなくて良いところは防げると学べた。
- ・発生したときに連絡シートがあることにより、落ち着いて連絡できる。
- ・救急連絡シートや救急要請の状況シートの活用。
- ・アクションカードについて。小さめサイズを緊急時に持ち歩いて対応したい。（大きめサイズはナースステーション内に貼ってもらう）
- ・現状が把握できた。手引き、アクションカードetc、在宅でも役立つ内容があると思ったため参考にしたい。
- ・その現場に出くわした際に対応の仕方が分かった。
- ・状況シートやアクションカードの存在を知れた。
- ・資料にないことをメモしたかったが早く聞き取れなかった。どこをやっているのか分かりづらかった。
- ・現状が数字的なところから理解できました。
- ・現実の数を知ることができた。
- ・通報するまでの時間が重要だと分かった。
- ・高齢社会の中での救急搬送の問題としての検討としては方向性に違和感を感じた。

イ 講演2「緊急時のための施設内での取組」

- ・施設での活動、工夫などなかなか見えてこないことを教えていただけた。
- ・他の施設ではどんなことをしているのか、考えているのかも知ることができた。
- ・救急搬送時、情報を看護記録から探し答えることが難しかったとのことで、緊急時情報提供書が有効だということは、訪問看護でも取り入れられると良いのかなあと思いました。
- ・日中、夜により対応の変化あり。
- ・現場の話聞いてとても参考になりました。
- ・緊急連絡カードに似たサマリーはあるが、受入側は統一していた方が分かりやすい。知らないことが多かった。
- ・施設スタッフの心理として共有（感）できる内容があった。マニュアルや提供書など在宅で生活している方の情報把握に取り入れたい。
- ・他施設の取組を知ることができた。
- ・他施設の動きが分かって良かった。
- ・悩んでいるところは似ているので、他施設の状況が分かりました。
- ・他施設を知るいい時間になりました。
- ・他施設での取組が具体的に分かった。
- ・高齢者施設においては、看取りの方向性を、しっかり体制作りをしつつどうやって本当に必要な人を搬送に繋げるかを選別するよう考える必要があると考える。

ウ 講演3「病院・緊急外来からお願いしたいこと」

- ・病院や救急外来ではどういうふうに情報が必要かという事を知ることができた。
- ・病歴、経過からの正しい判断、家族の意向を含めての対処。普段の状態の変化に早く気づけることが大切だと思いました。訪問看護では、毎日利用者の状況を見ることができないので家族との情報共有の大切さを学べた。
- ・家族との関わりが大切。家族も緊急時に気持ちが変わることもあるため、しっかりと確認が必要。
- ・事例をもっての話で、とても参考になりました。
- ・あまり職場とも関わらないので、そんなことがあるのか、他の方の意見が参考になった。

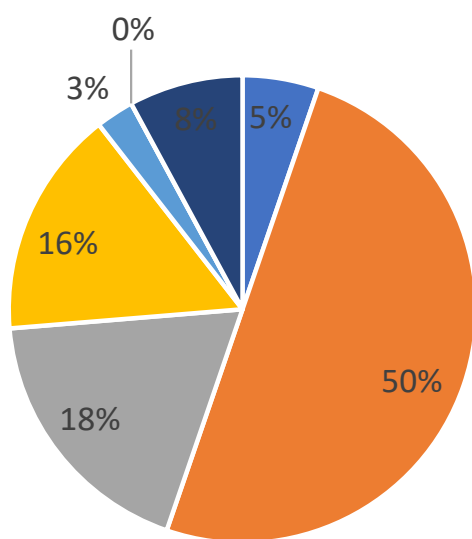
- ・病院側の意向を確認できた。自分事として考えることもできた。家族etcに伝わるよう準備したい。もちろん業務でも役立てたい。
- ・救急外来側の貴重な意見を聞くことができた。
- ・病院側が知りたい事、問題点が分かって良かった。
- ・連携していくために、病院側として考えていることが明確に分かった。
- ・施設から病院の、逆の目線を感じることができた。
- ・救急搬送する前に、事前に家族や病院の情報共有の必要性が改めてわかった。
- ・本当の意味で医療が必要な人に医療をとどけ、そうでない方がスムーズに看取りの方向になれるよう、6つの病院では高齢施設に指導していく必要があるのでは？

4.本センターの研修会で取り組んで欲しいテーマや内容、進め方などがあれば記入して下さい。

- ・今後もよろしくお願ひします。
- ・このような会を、高齢者施設の団体でもっとチャンスを作るべきです。あるいは社会福祉協議会で。
- ・かかりつけ医に連絡するのか、救急車を呼ぶのか？迷うときにどうするのか？（明らかに重傷、緊急ならいいけれど）
- ・「夜勤」での人数。失禁交換等の負担について。ヒヤリハット発生の割合や対応について。ご家族との連携。利用者が欲しいもの、家族が持ってくる物の対応について。
- ・精神疾患の利用者。
- ・このような実践の中での情報共有が少ないと思うので、このような機会を多くしていけたらよいと思う。
- ・経営している方たちももっと現場を知ってもらう機会を作ってほしい。
- ・ACPについてもう少しつっこんだテーマがあれば参加させていただきたいと思います。
- ・私は東京で退院支援看護師をやっていました。救急に搬送され、この方をどうしたら良いの？医師も看護師も困ってしまうケースが多くあります。ICの際、退院支援看護師も参加し、今後の方向性についてしっかり向き合っただけ対応していました。医師ができることにも限界があります。

II ACPについて

問5. ACPについて理解していますか

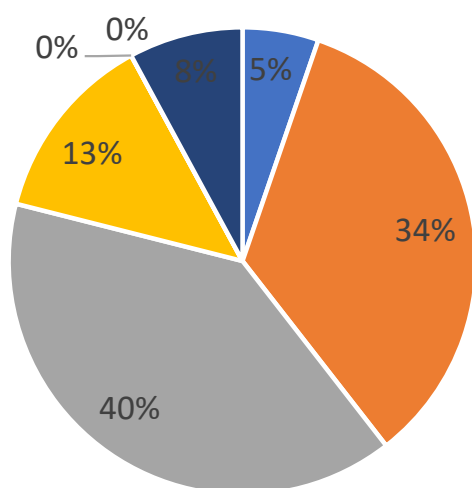


- よく理解している
- おおむね理解している
- どちらともいえない
- あまり理解していない
- 全く理解していない
- その他
- 未回答

※その他

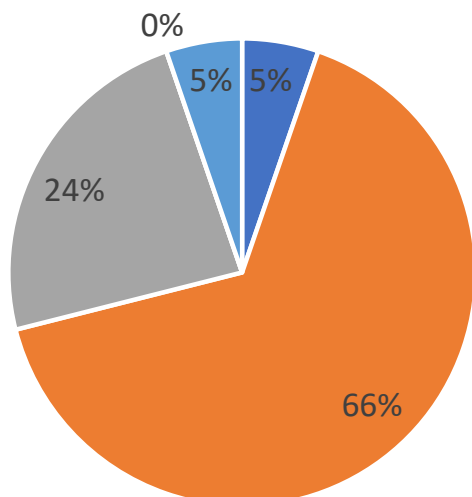
・本日の研修で初めて知りました

問6. 業務の中でACPを意識して患者（利用者）さんや関係者と接していますか



- 常に意識している
- おおむね意識している
- どちらともいえない
- あまり意識していない
- 全く意識していない
- その他
- 未回答

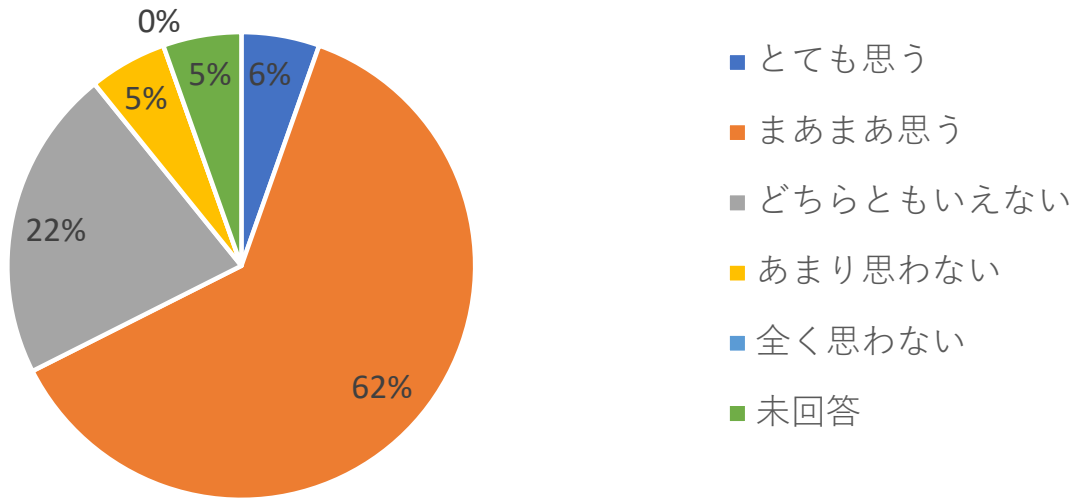
7. 人生会議（ACP）リーフレットを使用していますか



- 説明などに使ったことがある
- 見たことはあるが使ったことはない
- 見たことがない
- その他
- 未回答

II ACPについて

問8. 身近では多職種連携が図られていると思いますか



問9. その他ご意見、ご感想を自由にお書きください。

- ・多職種の方々の意見が聞ける大変有意義な時間でした。
- ・いろんな職種の方々の話を聞いてとても良かったと思います。また参加したいです。
- ・とても「そうなのか」と知らない内容が多く、ACPについてもっと詳しく知りたいです。職場内で講演していただきたい。
- ・アンケートを通じて見返して活用できる部分etc確認した。
- ・在宅医療・介護連携セミナーの重要性を認識しました。引き続き医療側からお話を聞かせていただきたいと思う。高齢者施設長の緊急時の取組はよく分かりました。高齢者介護施設の見本となるような点がたくさんありました。どうもありがとうございました。
- ・こういう機会があることは良いことだと思います。秋田の遅れを早く取り戻す必要性を感じます。なぜなら最も高齢化率が高く医師の数も少ない秋田県だから。
- ・研修ありがとうございました。